

坂元小だより

鹿児島市立坂元小学校
学校だより
令和6年度 3月号
発行責任者：中村宗義



～やってみよう 頑張ってみよう みんなが笑顔の坂元小～

「きっとできる、まずはやってみよう！」自分を信じて

校長 中村 宗義

4年生が「わたしたちの夢」という題で、就きたい職業の発表をしました。当日は、多くの保護者の方が見に来られ、我が子や級友の発表を聴いてました。夢を叶えるためには、どんな資格や知識・技術が必要で、そのためにどんな学校で学ばなければならないかななどを調べ、発表していました。ちなみに一番人気は、ユーチューバーでした。その他、プログラマーやファッションデザイナーも人気でした。

厚生労働省が定めている職業分類によると、日本にある職種の数約1万8,000種類以上あるといわれています。現代の子供たちは、様々な職業をパソコンやタブレットで検索したり画像を見たりして調べることができます。

一方、「郵便局員」になりたいと発表した児童がいました。父親が郵便局員として仕事をしている姿を見ているからと話しました。人の役に立つ仕事だからとも述べていました。きっとこのお父さんは、家庭でも仕事についての話をするなど、いい後姿を見せているのだろうなと感心させられました。

悲しいかな、私の子供たちは3人とも教員免許状をとったにもかかわらず、誰も教職には就きませんでした。「高い授業料払ったのに」とぼやきたくなりますが、「教師」としての姿や魅力を伝えられなかった私にも原因があるのかもしれません。

さて、「現時点の夢」ですので、修学旅行先の職業体験施設（キッザニア）のように、体験をとおして感じることもあるでしょう。また、中・高と進学し、多くの人とふれあうことで職業観が変わってくかと思えます。さらに、大学や専門学校などに進学すると専門性が高まり、より具体的に職業が絞られてくることでしょう。

では、夢（目標）を叶えるために大切なことは何なのでしょう。AKB48プロデューサーの秋元康氏は「アイドルに必要なものは？」という問いに「根拠のない自信を持っている人」と答えたとのことでした。

才能よりもやったことがないことでも「きっとできる！やればできる」と本気で思い込み、努力を積み重ね続けられる人の方が、成功するという事なのでしょうね。



*裏面もあります。